

- Q. 心を鍛えるための施策の検討を
 Q. プレミア付商品券発行事業の支援対策の継続を
 Q. ピンネブランドの確立への広域連携による支援を

心を鍛えるための施策の検討を



後木 幸里 議員

質問 町民憲章に「心とからだをきたえ、健康で明るいまちにしましょう」とある。体を鍛える場、すなわちスポーツ施設等は充実していると思うが、それと比較し心を鍛える場や施策が不明瞭でバランスがとれていないと考える。昨今、眉をひそめたくなる事件、短絡的で自己中心的としか思われぬような事象を見るにつけ、心を鍛える、あるいは人間性を磨くための施策を検討し実行すべきと思うがいかがか。

町長 昭和45年に制定された町民憲章は、まちのあるべき姿、まちづくりの基本的な理

想と願いを定めた行動規範である。行政はもとより住民の皆様にもご理解、ご協力をいただきつつ町民憲章に沿ったまちづくりが進められてきたと理解している。

憲章の第2章「心とからだをきたえ、健康で明るいまちにしましょう」とは、自身自身を高めていくためには、人生のあらゆる事象に向き合い、心身ともに成長し、健康に暮らしていきましようとの思いが託されているものと思う。

本町では、やる気さえあれば身体を鍛えるには事欠かないほどの施設が整備されており、一方、心の成長においては、幼児や子供は教育を通じて人を思いやる優しい心の醸成に力が置かれた指導が実践されており、また社会教育、生涯学習を通じ、心を育む活動を実践している。さらに、多様な文化活動により情操の陶冶を支援している点もご理解願いたい。今後とも住民各位とともに心身の健康に配慮した諸事業を推進していく所存である。

プレミア付商品券発行事業の支援対策の継続を



長谷川 秀樹 議員

質問 町民や商工業者も期待していたはずの割増付商品券の発行事業が何故実施できなかったのか。当面、年末にはこの事業を継続支援すべきと考えるが。

町長 3月末に実施したこの事業は、商工会が雨竜町商工会との共同事業として取り組まれたことにも意義があったと考える。プレミアム商品券の発行について商工会とも相談しており、事業主体である商工会、ふれあい商品券会が発行を検討しており、それに合せてプレミアムを付けることを前向きに検討したい。ただし、5年、10年と継続する

ピンネブランドの確立への広域連携による支援を

考えはない。

質問 農畜産物のブランド化に向けて、推進事業計画に基づき協議会を設置し、実効性ある検討が進んでいるはずだが情報が乏しい、進捗状況は。「安心・安全な農畜産物」を安定的に供給する生産体制確立にはJAピンネ主導が不可欠であり、「ピンネブランド」が理想と考える。浦臼町との連携でPRや販路拡大等、行政として積極的に支援しては。

町長 推進協議会が設立され、都合3回の会議において、事業推進計画(案)、ブランド産品推奨規程(案)等が検討され、ブランド化に向け具体策が展開されると期待している。

JAピンネにおいても積極的に取り組むことを表明し、「ピンネブランド」として販売されているが、「ピンネ」とい